



平成20年10月24日

各 位

会 社 名 株式会社朝日工業社
 代表者名 代表取締役社長 高須 康有
 (コード番号 1975 東証・大証第一部)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 総務副本部長 海野 清
 (T E L 03-3432-5711)

第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月15日の決算発表時に公表した平成21年3月期の第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年5月15日発表)	34,500	300	350	100
今回修正予想(B)	32,400	300	400	70
増減額(B-A)	△ 2,100	0	50	△ 30
増減率	△ 6.1%	—	14.3%	△ 30.0%
前期(平成20年3月期)第2四半期実績	31,584	345	420	47

2. 平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年5月15日発表)	34,000	200	300	100
今回修正予想(B)	32,200	300	450	130
増減額(B-A)	△ 1,800	100	150	30
増減率	△ 5.3%	50.0%	50.0%	30.0%
前期(平成20年3月期)第2四半期実績	30,849	249	372	43

3. 業績予想修正の理由

個別業績

売上高につきましては、全体で当初の予想より約18億円の減少見込となりました。事業別の内訳は、製品売上高は当初の見込を上回りましたが、完成工事高は、第2四半期累計期間に完成を予定していた一部工事の延伸などの影響により、当初の予想を約25億円減少する見込です。

利益につきましては、主として工事採算の改善により、売上高の減少による影響をカバーできたことと販売費及び一般管理費が当初の予想を下回ったことなどにより、営業利益以下の各段階利益は、それぞれ当初の予想を上回る見込となりました。

連結業績

連結業績予想の修正は、主として個別業績予想の修正によるものですが、台湾の子会社「亜太朝日(股)有限公司」の業績が、当初の予想に及ばなかったことにより、売上高は当初の予想より約21億円減少し、利益につきましては、経常利益は約50百万円の増加、最終損益は約30百万円の減少見込となりました。

4. 通期業績予想

通期業績予想につきましては、第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上